

事業計画書

事業名	ふれあいアジア×沼津 2025 ~マルシェでひろがる多文化交流プロジェクト~
実施場所	沼津市中心市街地（仲見世商店街周辺）
実施予定期間	<p>※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。</p> <p>令和7年6月1日～令和7年10月31日</p>

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

10月4日（土）・5日（日）に、アジア各国の料理を楽しみながら、多文化の魅力に触れられる体験型フードイベントです。沼津市仲見世商店街を中心に、各国の料理ブースや文化紹介コーナーを展開。食を通じて人と人がつながり、国境を越えた交流と地域の賑わいを創出します。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

本事業は、年々来街者が減少し活気を失いつつある仲見世商店街の賑わい創出と、人口減少が進む沼津市の活性化を目的に実施します。現在、沼津には労働力として多くの外国人、特に心優しく沼津を愛するアジア出身者が生活しており、地域にとって重要な存在となっています。

本イベントでは、アジア各国の料理や文化に触れる機会を提供することで、市民とアジア人住民との相互理解と交流を促進し、多文化共生のまちづくりを推進します。私たち地元企業家が中心となり、沼津で受けた恩恵への恩返しとして、沼津の魅力を再発信し、人口・労働人口の維持と地域経済の活性化に貢献します。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
6月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。</p> <p>※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。</p> <p>全体企画会議・構想立案の実施、委員全員で方向性・役割分担の決定</p> <p>実行委員の募集・面談・選定(10名程度まで拡充)、多様なスキルを持つ人材の確保</p> <p>関係機関との打合せ(行政・商店街・国際交流協会等)、市役所・仲見世周辺、協力体制・会場確認</p>
6～9月	<p>協賛企業の募集活動・提案資料作成・訪問、沼津市内・近隣市、協賛金の獲得と関係構築</p> <p>広報活動(SNS・チラシ配布・地域回覧)、集客と周知</p> <p>出店者・出演者の募集・選定、出店内容の調整・書類準備</p> <p>(出店者決定後)</p> <p>出店者説明会・会場配置計画、仲見世商店街・オンライン、当日配置・ルール説明</p> <p>会場備品・レンタル・キッチンカー等手配、必要機材の確保</p> <p>運営マニュアル・安全対策資料の作成、当日対応マニュアル整備</p>
当日(10月4・5日)	本番、仲見世商店街、当日運営・来場者対応
10月下旬	アンケート回収・報告書作成・反省会、次回への改善

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

1. 地域商店街の活性化

- 仲見世商店街を舞台とした開催により、普段訪れる機会が少ない層の来街を促し、商店街の認知度と回遊性を高めます。
- 地元店舗とのコラボ出店により、地域経済への波及効果が見込まれます。

2. 沼津市の魅力向上と交流人口の増加

- 沼津で多様なアジア文化を体験できるイベントとして、観光・交流の新たな目的地となり、市内外からの集客が期待されます。
- 文化体験・飲食・交流を融合させた複合的な魅力で「また来たい」と思わせるまちのブランドづくりに貢献します。

3. 多文化共生の推進

- 沼津市内で暮らす外国人住民と市民が出会い、言葉や文化を越えて交流するきっかけを創出し、相互理解の促進に寄与します。
- 地域に暮らすアジア人が誇りを持って文化を発信する機会にもなり、社会的な包摂と信赖関係の構築が期待されます。

4. 若年層や企業家の地域参画促進

- 実行委員会メンバーやボランティアの拡充により、若者や企業人が地域づくりに関わる機会となり、市民主体のまちづくりが進みます。

5. 中長期的な人口・労働力維持への貢献

- 沼津を好きになる外国人住民や訪問者が増えることで、将来的な定住・就労人口の増加、地域内での人材循環にもつながる可能性があります。

成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p><u>来場者数</u>：1日あたり 5000 名以上</p> <p><u>出店者数</u>：25 ブース以上（アジア各国の飲食・雑貨など）</p> <p><u>市民参加者数</u>：市民スタッフ・ボランティア 20 名以上</p> <p><u>外国人参加者数</u>：沼津在住アジア出身者を中心に 100 名以上</p> <p><u>協賛企業数</u>：20 社以上の協賛を獲得</p> <p><u>SNS リーチ数</u>：イベント前後での SNS 投稿・閲覧数 10,000 リーチ以上</p> <p><u>アンケート回収率</u>：来場者アンケート 300 件以上回収</p> <p><u>地域満足度</u>：アンケートで「満足」または「とても満足」80%以上</p> <p><u>再来意向率</u>：「来年も参加したい」と回答した人 85%以上</p> <p><u>商店街波及効果</u>：商店街店舗の売上が通常比 1.5 倍以上（平均）</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>会場カウント・スタンプラリー回収数・写真記録など</p> <p>出店申し込み数・出店当日の数</p> <p>事前登録数・実働名簿</p> <p>アンケート・協力団体からの報告</p> <p>契約・協賛申請書類</p> <p>Facebook, Instagram 等の分析ツール</p> <p>紙またはデジタルフォームによる回収</p> <p>5段階評価形式の設問にて評価</p> <p>アンケートより</p> <p>任意の協力店からの売上データヒアリング</p>

◎評価の視点に合致していることの説明

※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>本事業は、年々来街者が減少し活気を失いつつある仲見世商店街の再活性化を目的としています。沼津市では外国人住民、特にアジア圏からの転入者が増加しており、地域社会の一員として共に暮らす多様な市民との交流機会が求められています。本事業は、市民と外国人住民が相互理解を深める場を提供し、不特定多数の市民が自由に参加できる公共的な開かれたイベントです。</p> <p>加えて、外国人住民が『受け入れられる側』ではなく『まちの担い手』として主体的に関わるべききっかけづくりを意識しており、まちの活性化と共生社会の実現を両立させる質の高いまちづくり活動といえます。</p>

地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>本事業は、沼津市中心市街地の仲見世商店街という地域資源を舞台に、地元住民・商店街関係者が一体となって創り上げる参加型イベントです。地域住民からなる実行委員を拡充するとともに、商店街店舗前での料理提供や共同企画（コラボメニュー開発・装飾演出など）を通じて、商店主も主体的に関わる仕掛けを設けます。また、来場者だけでなく、地域の子どもたちや学生ボランティアも運営補助として参加し、幅広い世代を巻き込むことで、まちへの愛着や誇りを育む場とします。</p> <p>さらに今回は、これまで関わりの少なかった在住外国人層にも参加の呼びかけを広げることを目指しており、地域のにぎわいづくりと多文化共生の第一歩として機能することを期待しています。地域の課題を地域の力で解決していく、実践的で協働型のまちづくり活動です。</p>
独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <p>本事業は、食を通じて市民とアジア出身の外国人住民が繋がるというユニークな着眼点から生まれた、NAF 実行委員会ならではの地域交流事業です。単なるフードイベントではなく、文化背景や生活習慣にまで触れる展示や対話の場を設けることで、五感で体験する多文化共生を目指します。また、外国人参加者が「受け入れられる側」ではなく、「地域を盛り上げる担い手」として活躍する場を意図的に設計しており、このような構成は地域イベントとしては先駆的です。さらに、商店街や地元企業とのコラボによる演出や市民巻き込み型の運営体制など、創意工夫とチャレンジ精神に富んだ、これまでにない新しいまちづくりのかたちを提案するものです。</p>
実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p>本事業は、令和 7 年 10 月の開催に向けて必要な準備期間を確保し、実行委員会による段階的な打合せ・募集・調整・広報を計画的に実施します。</p> <p>運営体制は 10 名規模の実行委員に加え、地元ボランティアや商店街関係者、国際交流団体とも連携し、役割分担を明確にした協働型で構築されます。</p> <p>事業費についても協賛企業の獲得と補助金を併用することで、費用対効果を高めながら安定的な資金確保を図ります。また、歩行者天国区域の活用、火器使用の安全管理、食品衛生面の対応等についても、事前に行政・警察・保健所と調整を行い、必要な手続きと法令順守を徹底します。地域の実情に即した現実的なスケジュールと体制のもと、無理なく安全に実施できる体制を整えています。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>本事業は、単発イベントにとどまらず、地域資源である仲見世商店街を活用した「多文化交流の定番行事」として定着を目指す構想のもとに設計されています。外国人住民との継続的な関係性構築を通じて、多文化共生型の地域社会の形成に寄与し、沼津市の新たな魅力発信拠点として波及効果が見込まれます。</p> <p>実行委員会には地元企業や若手経営者も加わっており、将来的には新たな雇用や協業モデルの創出も視野に入れています。さらに、協賛金の獲得や市民サポート制度など、持続的な財源確保にも主体的に取り組んでおり、補助金に依存しない自立運営体制への移行も見据えた、意欲的かつ発展性のある地域事業です。</p> <p>加えて、今後はこのイベントを通じて、外国人住民自身がコンテンツの提供者や実施側の担い手として関わる機会を創出し、より双方向的な多文化共創のあり方へと発展させていくことを目指しています。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

■ 令和8年度（2年目）

- イベントの規模拡大とテーマの深化

本事業と春節祭を継続開催し、出店国数や体験型コンテンツをさらに充実させます。アジア圏に限らず、他地域との文化交流も視野に入れた取り組みを検討します。

- 市民・商店街との連携強化

地域住民や商店街店舗との協働による新たなコンテンツ（国際料理教室、外国語カフェ、装飾づくりなど）を定期開催へと発展させ、年間を通じた関係性構築を進めます。

- 教育機関との連携

地元高校や専門学校と連携し、学生がイベント企画・運営に参加する機会を設けるとともに、多言語パンフレット制作などを通じた国際理解教育の実践を行います。

■ 令和9年度（3年目）

- 常設的な多文化交流拠点の形成検討

商店街内の空き店舗などを活用し、外国人住民と市民が日常的に交流できる「国際交流拠点」の設置に向けた実証的な取り組みを進めます。

- 地域周遊型国際フェスタへの発展

複数会場（駅前・仲見世商店街・港エリアなど）を連携させた“まちぐるみ”の国際フェスタへと規模を拡大し、地域全体を巻き込んだイベントとして発展を図ります。

- 自立運営に向けた体制と財源の確立

市民サポート制度の整備、協賛企業の拡大、イベント内での物販収益などにより、補助金終了後も持続可能な運営体制と財源構造の確立を目指します。

このように、次年度以降も事業の内容と関係者を着実に拡大しながら、地域に根づいた持続可能な多文化共生の基盤づくりを進めていく戦略を有しています。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

初開催です。